



より高度な臨床
より深い研究
より広い教育
より積極的な保健活動

地域医療連携室だより

Community Healthy Network News

共に診る・共に支える地域医療



退院時共同指導にて

JA秋田厚生連・平鹿総合病院

も く じ

- 総長ご挨拶.....②
- 院長ご挨拶.....②
- 新たな地域医療連携に向けて.....③
- 秋田県南ハートケアネットワーク.....③
- お知らせ.....④
- 紹介患者さま受付場所.....④

病院住所／〒013-0042 横手市前郷字ハツ口3番1
TEL／0182-32-5121 (代) FAX／0182-33-3200
[地域医療連携室連絡先]

- 地域医療連携室
TEL／0182-45-6012 FAX／0182-32-0698
- HP : <http://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp/>

紹介・逆紹介率の増加をめざして



平鹿総合病院
総 長

林 雅 人

今年は梅雨が長く続き、農家では日照不足を心配する声がかかりますが、8月になって何とか夏らしくなってほっとしています。

さて、地域医療連携はこれからの医療をうまく回転させるために最も重要な事柄ですが、平鹿総合病院での取り組みを診療所の先生方に理解していただき診療参加型診療連携システムが4月1日よりスタートし4ヶ月を過ぎましたが順調に効果をあげてきたと喜んでおります。

オープンベットの稼働率も順調に推移していますので、大事な課題としながら少し遅れている『四疾病五事業』のうち四疾病にもっと力を入れて、紹介、送紹介が更にやり易い方法を考えねばと悩んでいます。

最近、最後は家で家族に看取られたいと望んでいる患者さんが増えているという実感があります。7月には紹介患者数が600人を超え逆紹介も増えていますが逆紹介を増すには在宅での『みとり』の増加が必要です。そのような視点から逆紹介が増やせるように先生方の御協力をお願いします。

前述しましたが四疾病のうち行政ではまず脳卒中に力を入れています。脳卒中を成功させてから心筋梗塞へという流れにあります。この点は診療所の先生方と呼吸を合わせながら頑張って21世紀の病診連携の型を早く作りたいと思っています。最後になりましたが、平鹿総合病院も日本病院機能評価を受け平成21年6月5日に1回で病院機能評価 Ver5.0 認定されました。今後ともレベルをあげ地域から望まれる病院にするつもりですのでよろしくお願いします。

平鹿総合病院の新聞広告をご覧頂けましたでしょうか？



平鹿総合病院
院 長

平 山 克

ご存知の方も多いと思いますが、現在、秋田県厚生連は秋田魁新報に広告を掲載中です。

6月22日に16,17両面見開きで組織としての現況と課題を県民に呈示するとともに、県内9病院がそれぞれ10回シリーズで各々の“病院広告”を展開中です。当院は7月10日から7月22日の期間で10回の掲載を行いました。掲載が秋田魁新報なのは、同紙が県内で圧倒的な市場シェアを占めているからに他なりません。

さて、私どもは、院内で検討を重ねた結果、今回の広告のテーマを【当院が担い、そして果たすべきミッション（使命）を広く県民の皆様知って頂く事】と決めました。

その結果として紙面に掲げられた主なキーワードは、『県南エリアの医療の要』『癒される療養環境』『救命救急医療と災害医療』『地域医療連携事業』『日本の農村医学の旗手（秋田県農村医学研究所）』『人間性豊かな医療人の育成』『がん克服の明日を目指して（がん診療連携拠点病院）』『急性期医療の拠点（内視鏡・循環器・脳卒中・透析各センター）』『専門医による最新安全治療（乳腺科・形成外科・心臓血管外科・病理診療科・肝臓外科）』『政策医療（地域療育医療拠点センター、エイズ拠点病院、へき地医療拠点センター、周産期母子医療センター）』（以上、掲載順）であります。

このように、地域医療連携事業の推進は当院の重要使命の一つです。この冊子にもそれぞれの専門の立場から心臓病と脳卒中に関する具体的な地域医療連携事業の展開が説明されていますが、地域の皆様には今後とも御指導と御助言、そして何よりもそれぞれの立場からの積極的な参画をお願い致します。

このように、地域医療連携事業の推進は当院の重要使命の一つです。この冊子にもそれぞれの専門の立場から心臓病と脳卒中に関する具体的な地域医療連携事業の展開が説明されていますが、地域の皆様には今後とも御指導と御助言、そして何よりもそれぞれの立場からの積極的な参画をお願い致します。

尚、今回の掲載内容につきましては、病院エントランスホールの中庭に面したガラス面に“超”拡大した紙面を掲示しておりますので、病院を訪れた際には是非ご覧下さい。

新たな地域医療連携に向けて



地域医療連携室
室 長

高橋 俊明

い医療サービスを行うことである。地域連携パスとは、患者情報をもれなく関連機関に伝達するため地域で統一された様式の情報提供書のことである。

現在、秋田県立リハビリテーション・精神医療センター（以下リハセン）とお互いの施設見学や話し合いを重ねている。リハセンの摂食・嚥下リハビリなどのきめ細かさには感心した。リハビリ専門病院として休日にも濃厚なリハビリを行うリハセンとの連携は大きな意味を持つ。そして地域の先生方との連携はそれ以上に重要になり、いままで開放型病棟や診療参加型連携などで築いてきた“顔の見える連携”が役立つことになる。

厚労省は現在の療養病床 38 万床（医療型 25 万床、介護型 13 万床）のうち医療型を 2 割、介護型をすべて廃止する計画なのだという。結果的に急性期を過ぎて療養病床へ移行すべき患者はあふれる。在宅や施設入所は困難なほど介護度が高い患者も多い。そもそも日本の平均在院日数は諸外国に比べて長すぎるといわれているが、外国の統計には慢性期病床は含まれていないそうである。

毎日診療していて実感するが、療養病床の廃止が現在の日本にふさわしい医療政策とはとても思えない。しかし、患者が行き場を失うことは避けなければならない。できるだけ機能回復をはかり、在宅や施設入所を図ることがわれわれにできる対応のひとつであろう。

いままで以上に医療・介護・在宅のスムーズな移行が求められる。急性期医療、回復期リハビリ、維持期の療養医療の機能的つながりを地域連携パスによって明確に示し、急性期から在宅にいたるまで切れ目のない

秋田県南ハートケアネットワーク



第 2 内科
科 長

関口 展代

2008 年に循環器中心の開業医の先生方と各中核病院の循環器の先生方のご協力により、秋田県南ハートケアネットワークを発足しました。目的は、秋田県南地域の各医療機関の特色を生かして（機能分化）、スムーズに連携協力しあって、大変な医療環境の中でも良質の医療を維持することです。今まで主に手掛けたことは

- * 急性心筋梗塞や急性冠症候群は、経皮的冠動脈インターベンション（PCI）などによる早期の再灌流が患者さんの予後を左右します。従って緊急心カテが必要と思われる場合は、ご紹介・搬送の時間短縮が必要です。
- 1. 緊急心カテ・ホットライン：心カテ当番が専用のピッチを持っており、いつでも直接循環器専門医に連絡がとれます。24 時間体制です。PHS：070-6498-5960
- 2. 急性心筋梗塞・急性冠症候群シート：急ぐ紹介の場合に、詳細な紹介状を書くことで時間をとられることがあります。時間短縮のため、必要

最低限の情報をより早く伝えていただくためのシートを作りました。

* PCI 後の地域連携パスの導入

PCI を施行した患者様をお返しする際の地域連携パスを作成しました。紹介・逆紹介の流れをスムーズにし、治療の一貫性を保ち治療やフォローの流れをわかりやすくする為です。フォローの心カテ依頼を簡単にする為に心カテ依頼用の Fax 用紙を付けました。

この会はクローズドなものではなく、世話人になっていただいていない先生方にも広く利用していただければと思っています。

当院では、以下のことに取り組んでおります。

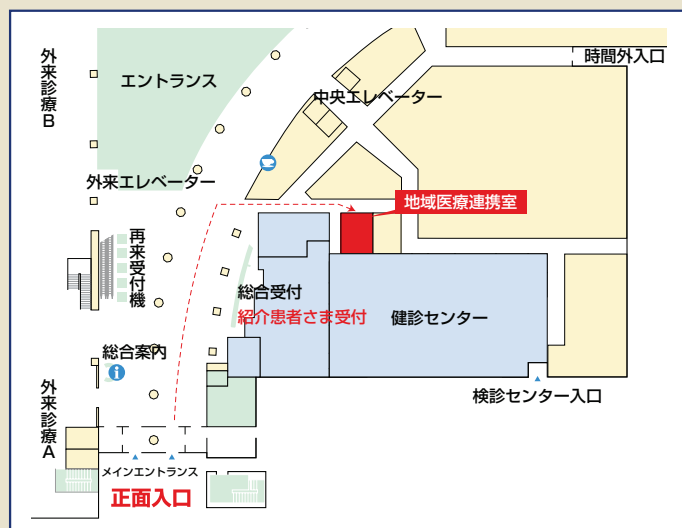
患者様のニーズに合った医療や看護を提供させて頂いております。

特徴のある医療体制

- 災害拠点病院として機能しております。
- エイズ拠点病院として機能しております。
- 地域周産期センターとして機能しております。
- 救急センターとして機能しております。
- 横手市医師会の先生方のご協力により、日曜夜間小児救急医療体制をとっております。
- 横手市医師会の先生方と共同し、診療参加型病診連携体制をとっております。
- 内視鏡センターを平成 21 年 9 月 1 日より開設いたします。
- がん医療相談室では、患者さん・ご家族の「がん」についてのご相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。
- セカンドオピニオン外来を開設しております。
- 開放病床（共同利用ベッド）を 6 床運用しております。
- 秋田診療情報共有システムのモデル事業施設に指定されております。
- 病院 O B、市民有志の方々より、ボランティア活動にご協力いただいております。

お知らせ

- 1 地域医療連携室の電話番号が10月1日より変更になります。
TEL 0182-45-6012 FAX 0182-32-0698
- 2 CT・MRIは、放射線科外来に直接お申し込みができます。
TEL・FAX 0182-32-9114
- 3 緊急心カテ・ホットライン
PHS 070-6498-5960



紹介患者さま受付と地域医療連携室設置場所

スタッフ

室長 高橋 俊明
副室長 齊藤 研
医事課長 久米川 均
看護師長 高山 国子
事務 福田 靖子

スタッフ一同心を込めて対応いたしております。
どうぞよろしくお願いいたします。